

### 「市内を花でいっぱい」 花の苗の販売を行います



販売された花(苗)で彩られた花壇

また、サルビア(赤)については苗の成長具合により、引渡しに1週間ほど遅れる場合がありますのでご了承ください。  
なお、本数に限りがありますので、申し込み期間でも数量に達した時点で締め切りますのでご了承ください。  
申し込み・お問い合わせ  
北秋田市花いっぱい運動推進協議会(中央公民館)  
☎62-1130

### 県指定無形文化財

「阿仁前田獅子踊り」映写会



五穀豊穡と獅子たちの恋の葛藤を表現する、雄獅子・中獅子・雌獅子、節度をもった奴踊り、エネルギーシユな駒踊り、勇壮な八つ払い等で知られている、阿仁前田獅子踊りの記録の映写会が開催されます。  
開催日/6月20日(土)  
時間/1回目 午後1時~3時  
2回目 午後7時~8時30分  
場所/阿仁前田 四季美術館  
入場料/無料(気軽にこ来場ください)  
お問い合わせ  
森吉公民館 ☎72-3259

### 県埋蔵文化センター巡回企画展

「秋田の狩猟文化」開催中



市文化会館展示室において、秋田の「狩猟文化」を開催しています。この展示は2月まで大仙市の県埋蔵文化センター第2回企画展として開催されたものを、内容を一部変更して展示するもので、県内では北秋田市のみの開催となります。  
展示テーマは 旧石器時代、縄文時代、現代のマガキ文化、マガキ研究と県考古学の先駆者 武藤鉄城の4つに分かれ、市域では出土例の少ない旧石器時代の資料や縄文時代のアスファルト入り土器、武藤鉄城の自筆の原稿など、珍しい資料も展示されていますので、会期中に是非ご覧ください。  
主催/北秋田市教育委員会  
共催/秋田県埋蔵文化センター  
会場/市文化会館 資料展示室  
日時/平成21年4月30日(木) ~ 7月5日(日)  
会館時間/午前9時~午後5時  
(水曜日には休館となります)  
入場無料(見学の際は事務室に声をかけてください)

## 学びの広場

公民館活動 生涯学習  
文化振興 学校 スポーツ

地域で学び、活動する  
皆さんを応援します

北秋田市  
教育委員会

今年も花の苗の販売を行います。本数に限りがあり、また販売当日は大変込み合いますので、あらかじめ事務局(中央公民館)へ花の種類、本数をお申し込みください(電話可)。代金は現地で徴収します。

### 【苗の販売場所、種類、価格(一本につき)】

販売場所 さかえフラワーセンター(栄字前綱地内=マックスバリュたかのす店の道路をはさんだ北側)  
種類と価格(3種類) マリーゴールド(黄、オレンジ)=20円、サルビア(赤)=30円  
申込期間 6月3日(水)~6月12日(金)

### 【苗の販売日時】

事前に申し込まれた方  
6月20日(土)、21日(日) 5:30~9:00  
当日購入する方  
6月21日(日) 15:00~17:00  
日時を厳守してください。当日は入れ物(ダンボール、発泡スチロール等)を忘れずにお持ちください。

### 森吉公民館講座募集

アトリエ「七宝焼き」

七宝焼きの色彩の美しさと暖かさをオリジナル作品で表現しませんか。  
期間/6月~10月第3火曜日  
第1回開催日6月16日(火)  
講師/工藤正子さん  
場所/森吉コミュニティセンター  
対象/どなたでも可(要材料費)  
申込み・問い合わせ  
森吉公民館 ☎72-3259

### 21年度高齢者大学がスタート

鷹巣地区の高鷹大学は309人で

高齢者の生涯学習講座「高鷹ことうよう」(大学)佐藤善壽(学長)の入学・開講式が5月12日、市文化会館で開かれ、大学生たちの今年度の学習活動がスタートしました。  
\* \*  
開講式では、「君が代」校歌旧鷹巣町民歌(斉唱)に続き、新入生点呼が行われ、大きな声で返事をする新入生たちを、先輩たちが温かい拍手で歓迎しました。また、式辞では杉淵教育次長、来賓の吉岡市議会議長が、大学

での学習活動とこれまでの体験を活かして、これからも若い世代を引っ張って行ってほしい」と激励しました。  
このあと、新入生を代表して三澤伸子さん(宮前町)が、「盛大で敵かな歓迎をいただき新入生一同、身の引き締まる思いです。これからは、講師の先生や諸先輩のご指導を仰ぎ、高鷹大学の一員として、真摯に楽しく学ぶつもりです」と抱負を述べました。

開校式終了後、第1回講座として教育委員会生涯学習課文化班の榎本剛治主任学芸員による記念講演「縄文人にいざなう」が行われ、縄文人の生活や文化について理解を深めました。  
また、「新秋田風土記 鷹巣町(昭和39年秋田放送制作)」も上映され、45年前の鷹巣町の街並みや人々の活動を見ながら、当時を懐かしみました。

5月18日に森吉大学、20日に阿仁生き生き大学でそれぞれ入学・開講式、29日には合川こぶき大学で入学式が行われました。こちらの様子は次号で紹介いたします。



鷹巣地区の高鷹大学入学・開校式

### ふるさとの文化財

16

北秋田市指定有形文化財

天然記念物樹木  
「大樺」一本

所在地:北秋田市宮前町10番37号  
所有者:鷹巣神社

鷹巣神社の入口にある2本の大きな樺(けやき)の木で、長い間地区の人々を守ってきた御神木です。  
写真右側の幹回りが3.5メートル、左側は4.7メートルで、いずれにも大きな瘤(こぶ)がついています。樹齢は約350年以上経過していると推定され、今なお勢いがあり元気です。旧鷹巣地区では、「相善杉」(綴子大畑地区)、「千年桂」(綴子神社境内)、「マイツルテンナンショウ」(鷹巣農林高校内)とともに貴重な天然記念物であり、今後とも市民で大切に保存していきたいものです。



北秋田市指定有形文化財「大樺」

「白鷹伝説」によると、今の鷹巣神社の森に雌雄夫婦の鷹が棲んでいたが、あるとき迷い込んできた荒鷹に雄鷹が殺されました。ところが、雌鷹に白い鷹が生まれ、成長した後、敵討ちということで憎い荒鷹を捕らえて大樺に止まっていたといいます。そこから「鷹巣」という地名が付いたという説です。また、地形上この地方が小高い段丘の台地となっていて、高洲たかす」ということから生まれたという説も有力です。いずれ鷹巣は、近世の新田村です。

鷹巣の始めは、南部の鹿角から移住してきた兵部という人で、「兵部羽立」と言っていたようです。慶安元年(1648)大館城代家老小山縫殿之丞は、鷹巣村を開拓し、その後初代肝煎として斎藤伊勢という人を任命しました。伊勢は本格的に新田開発を進め、村が飛躍的に発展しました。このころから「市」が始まり、村人でも賑わったとも言われています。

また、斎藤伊勢は鷹巣神社を創立した功労者でもあります。開発当時の神社は、皇太神宮(現鷹巣農林高校付近)・愛后山(現中央公民館付近)・そして八幡宮(現在地)の三つに分かれていましたが、明治42年一緒になって「鷹巣神社」となりました。昭和53年2月鷹巣町指定有形文化財。資料/鷹巣の文化財、合併10年史、たかのす地名探訪、ほか/北秋田市文化財保護審議委員 照内捷二